三和の電動アルミガレージシャッター

静々動々

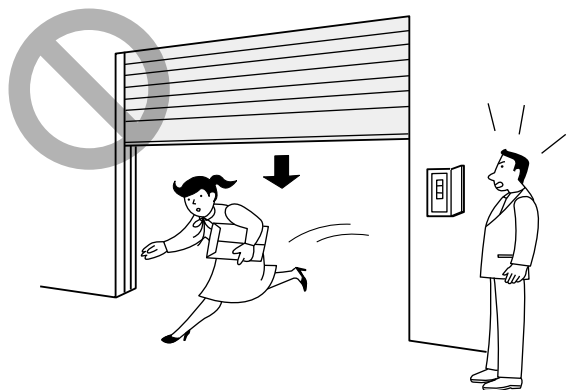
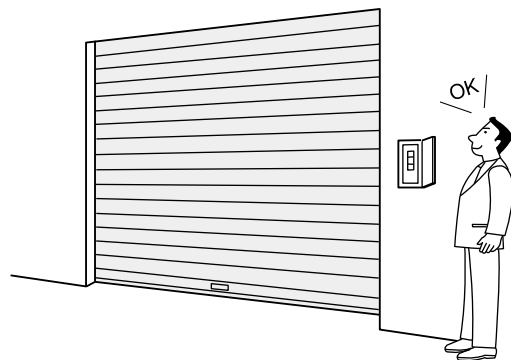
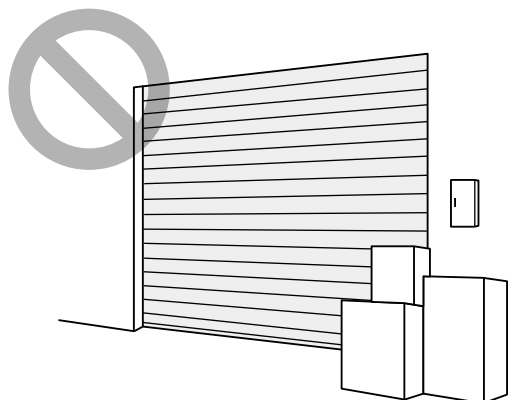
SB10D形 開閉機

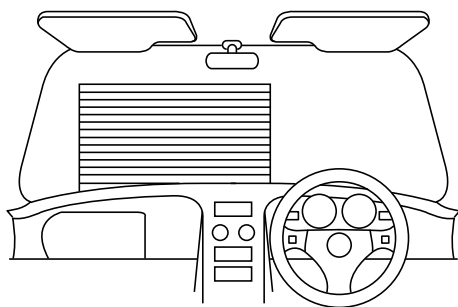
取扱説明書

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。
※建設会社・お施主様へ
　この取扱説明書は実際に使用される方へ必ずお渡しください。

三和シヤッター工業株式会社

ご使用上の注意

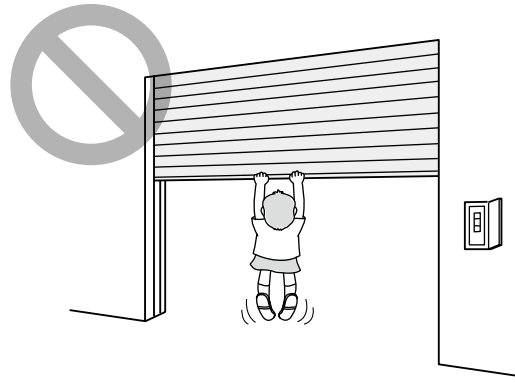
⚠ 警告：次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。

シャッター開閉中は、人や車の出入りを絶対におやめください。はさまれると危険です。

シャッターの開閉が完全に終了するまで離れないでください。緊急時の停止操作ができません。

押ボタンスイッチのまわりには、障害物となる物を置かないでください。緊急のとき操作できません。

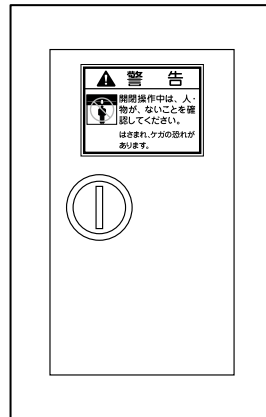
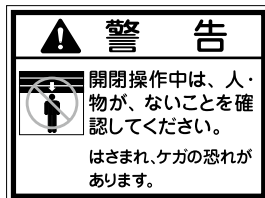
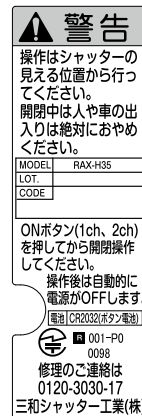
シャッターにハシゴなどを立て掛けて作業をしないでください。シャッターが動いて転落するおそれがあります。

シャッターは、必ず見える位置から操作してください。シャッターの下に人がいたり物があったりした場合、はさまれるおそれがあります。

いたずら防止のため、お子様には操作させないでください。はさまれるおそれがあり、大変危険です。

ご使用上の注意

警告：次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。

お尻のポケットには絶対にリモコンを入れないでください。
意図せぬ誤作動やリモコンが破損するおそれがあります。

シャッターにぶらさがらないでください。はさまれたり、落下して重傷を負うおそれがあります。

当商品では、お客様に特に注意して正しくご使用いただくための「警告ラベル」を
押ボタンスイッチのボックスフタ・リモコンの裏面に貼り付けています。
十分ご理解のうえご使用ください。

〈押ボタンスイッチボックス〉

〈リモコン〉

ご使用上の注意

⚠ 注意： 次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。

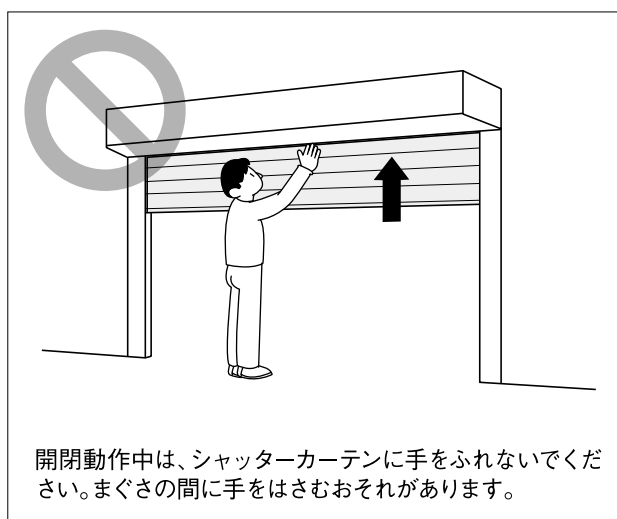
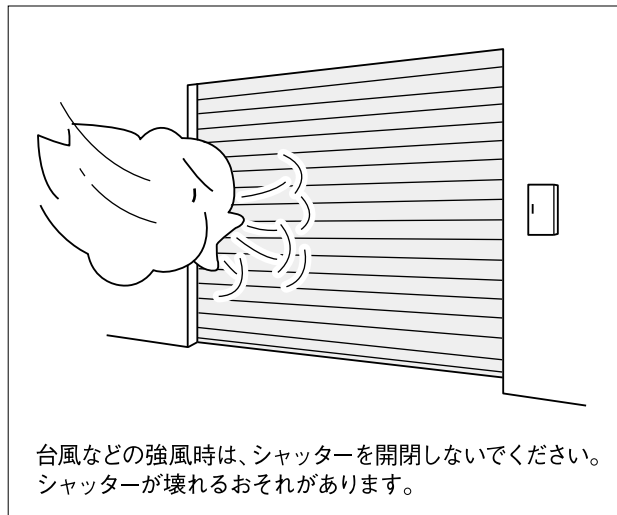
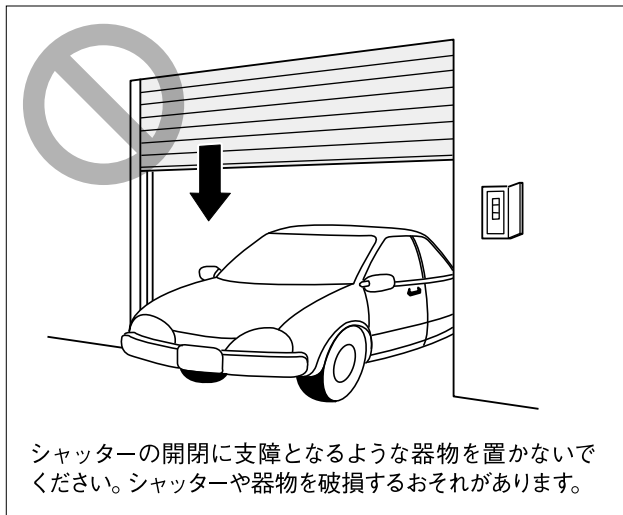
シャッターの開閉に支障となるような器物を置かないでください。シャッターや器物を破損するおそれがあります。

台風などの強風時は、シャッターを開閉しないでください。シャッターが壊れるおそれがあります。

シャッターの改造、分解は行わないでください。故障または性能低下の原因となります。

スイッチ・制御盤など、電気部品の周辺には水をかけないでください。漏電、誤作動などの故障の原因になることがあります。

開閉動作中にシャッターカーテンを引っ張ったり、激しく揺すったりしないでください。障害物検知装置が作動して、止まる場合があります。

開閉動作中は、シャッターカーテンに手をふれないでください。まぐさの間に手をはさむおそれがあります。

●停電時の操作

⚠ 警告

「緊急必要時以外」は停電復帰を待って、通常の操作を行ってください。やむをえず手動で操作をする場合は、下記の事項を確認してください。

●高い所での作業は、足場の安全を確保してから行ってください。
●点検口を開けるときに、チェーンが落下してきて頭に当たったり（チェーン式の場合）、ほこりが落ちてきて目に入ったりすることがあります。気を付けて開けてください。
●シャッター開閉中は、人や車の出入りを絶対におやめください。はさまれると危険です。
●操作中に「停電復帰」のおそれがあります。事前にシャッターの電源を切ってください。

お 願 い

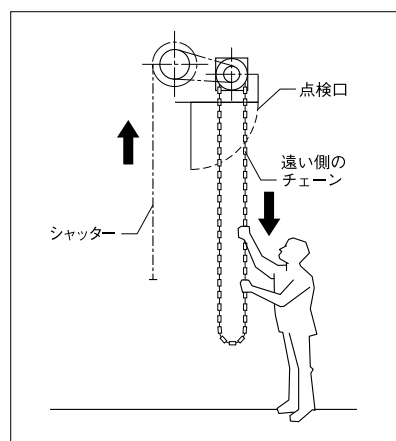
●チェーン操作時、ブレーキ解放ひもが垂れ下がっているとチェーンガイドに巻き込むおそれがあります。
●操作用具（チェーンまたはハンドル）によりシャッターを開放するときは、巻き上げ過ぎないようにしてください。無理に上限いっぱいまで開放すると、座板がシャッターケースやまぐさにあたり、故障や破損をするおそれがあります。また、閉鎖するときも下げすぎないようにしてください。故障の原因となります。
●操作終了後は、操作用具をもとの状態に戻してください。なお、ハンドル式の場合は、開閉機からハンドルを取り外さないでください。
●シャッターが全開位置以外のときに停電復帰した場合、シャッターを「閉」操作できなくなることがあります。一度、シャッターを全開にしてから「閉」操作を行ってください。

■チェーン式の場合

シャッターを開放するとき

(1) 点検口を開けてください。 ※チェーンの落下に気をつけてください。
(2) チェーンを伸ばし、シャッターから遠い側のチェーンを引いてください。シャッターが上昇します。※シャッターから近い側のチェーンは引かないでください。故障の原因になります。
(3) 任意の高さ、または上限近く（天井面やケース面より10cmくらい下）まで開放したら、それ以上チェーンを引かないでください。

シャッターを閉鎖するとき

(1) 点検口を開けてください。 ※チェーンの落下に気をつけてください。
(2) ブレーキ解放ひもを引くとシャッターが下降します。
(3) 任意の高さ、または床面に接したら、ブレーキ解放ひもを放してください。

■ハンドル式の場合

シャッターを開放するとき

(1) 点検口を開けてください。
(2) ハンドルとシャッターの位置を確認してください。
【ハンドル側から見てシャッターが左にあるとき】（本図）
：ハンドルを右に回してください。 シャッターが上昇します。
【ハンドル側から見てシャッターが右にあるとき】
：ハンドルを左に回してください。 シャッターが上昇します。
※点検口の枠に手が当たらないよう、注意してハンドルを回してください。
※ハンドルを逆方向に回さないでください。故障の原因になります。
(3) 任意の高さ、または上限近く（天井面やケース面より10cmくらい下）まで開放したら、それ以上ハンドルを回さないでください。

シャッターを閉鎖するとき

(1) 点検口を開けてください。
(2) ブレーキ解放ひもを引くとシャッターが下降します。
※ブレーキ解放ひもはチェーン式と共通です。
(3) 任意の高さ、または床面に接したら、ブレーキ解放ひもを放してください。